

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社アクセル  
 コード番号 6730 URL <http://www.axell.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 謙  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 東

TEL 03-5298-1670

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	11,595	—	4,961	—	4,988	—	3,044	—
20年3月期第3四半期	8,374	63.8	3,712	59.7	3,735	60.1	2,278	59.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	24,276.12	24,216.22
20年3月期第3四半期	18,215.16	18,083.94

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	12,804	86.5	11,080	86.5	—	—	89,304.18	—
20年3月期	14,049	76.7	10,770	76.7	—	—	85,819.65	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 11,080百万円 20年3月期 10,770百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5,000.00	—	9,500.00	14,500.00
21年3月期	—	7,500.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7,500.00	15,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,790	7.2	6,070	1.7	6,090	1.5	3,720	2.5	29,594.27

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	125,700株	20年3月期	125,700株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,627株	20年3月期	204株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	125,417株	20年3月期第3四半期	125,112株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)におけるわが国経済は、世界的金融不安や急激な円高に振れた為替変動等に起因する国内景気の悪化傾向が鮮明なものとなり、先行き不透明な状況となりました。また、当社が属する電気機器業界におきましても、世界的金融不安を端緒とする国内外産業の低迷と個人消費の落ち込みを背景に厳しい状況下での推移となりました。

現在、当社事業の中心的市場である遊技機器市場(注1)におきましては、サミット開催に併せた自主的な新台導入規制に始まり、過年度における遊技機器に係る規則改正等の影響によるパチスロ機器市場における縮小傾向の継続や厳しさを増す国内景気動向の影響等により、先行き不透明な状況での推移となりました。このような環境の下、当第3四半期累計期間における遊技機器の製造動向を機器ごとに分析いたしますと、パチスロ機器の製造は厳しさを増しておりますが、遊技機器市場の中核機器であるパチンコ機器の製造は比較的堅調に推移しているものと捉えております。

当第3四半期累計期間の業績を市場別及び製品別に分析いたしますと、遊技機器市場に向けたグラフィックスLSI(注2)製品に関しましては、当社LSI製品の採用拡大により前年同期間に比較して販売数量が増加するとともに、高付加価値化製品「AG301」への移行比率が87%(前年同期42%)と順調に進展いたしました。以上の結果、遊技機器市場向けグラフィックスLSI製品の売上高は前年同期間に比較して31%増加となる8,668百万円となりました。

また、同市場に向けたサウンドLSI(注3)製品の販売数量も前年同期間に比較して8%増加となり、売上高でも8%増加の660百万円となりました。

LED(注4)ドライバLSI製品及びメモリモジュール(注5)製品につきましては、特にメモリモジュール製品の本格的量産開始が前事業年度第4四半期であったことから、両製品合計売上高が118%増加となる2,004百万円となりました。

組み込み機器市場(注6)に向けたグラフィックスLSI製品「AG-9」シリーズにつきましては、国内産業の低迷の影響等から販売動向が減少傾向を示しておりますが、当第3四半期累計期間における前年同期間との比較では販売数量が24%増加しており、売上高も21%増加の163百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は11,595百万円(前年同期比38.5%増)、営業利益は4,961百万円(前年同期比33.7%増)、経常利益は4,988百万円(前年同期比33.5%増)、当四半期純利益は3,044百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

- (注) 1. 遊技機器市場とは、パチンコ機器及びパチスロ機器等の製造に係る市場を意味しています。  
 2. グラフィックスLSIとは、液晶表示装置等に表示を行うためのLSIを意味しています。  
 3. サウンドLSIとは、デジタル化された音声データを再生するためのLSIを意味しています。  
 4. LEDとは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われています。  
 5. メモリモジュールとは、遊技機器の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しています。  
 6. 組み込み機器市場とは、「広義の組み込み機器の中から遊技機器を除いたその他の機器の製造に係る市場」として使用しています。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## ①当第3四半期末の資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、前年同四半期末との比較で1,648百万円増加となる12,804百万円(前年同期比14.8%増)となりました。主な要因は、前年同四半期末以降における事業活動の結果得られた現金及び預金の増加(1,514百万円)等によるものであります。

当第3四半期末における負債合計は、各科目に増減は見られるものの、全体としては前年同四半期末との比較で26百万円減少となる1,724百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

当第3四半期末における純資産合計は、前年同四半期末との比較で1,674百万円増加となる11,080百万円(前年同期比17.8%増)となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(2,056百万円)及び自己株式(326百万円)の計上によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動により増加した資金は、1,709百万円となりました。

これは主に、当第3四半期累計期間における税引前四半期純利益が4,988百万円であったのに対して、法人税等の支払い(2,930百万円)及びたな卸資産の増加(464百万円)等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動により支出した資金は、193百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得(75百万円)及び無形固定資産の取得(118百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動により支出した資金は、2,689百万円となりました。

これは主に、当第3四半期累計期間に係る配当金の支払い(2,127百万円)及び当第3四半期会計期間中に取得した自己株式の取得による支出(586百万円)によるものであります。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、平成20年3月期末に比べて1,174百万円減少となる9,551百万円となりました。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当社第14期第3四半期累計期間を終了した現在までの遊技機器市場における当社LSI製品等の需要動向は、概ね当社が期初において想定した動きで推移したものと分析しております。

また、今後におきましても、現在までに当社が入手している当社LSI製品の需要動向等に鑑みて、堅調に推移するものと見込んでおります。

従いまして、平成20年4月24日に公表いたしました業績予想は変更しておりません。

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税等の計上基準につきましては、法定実行税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

②たな卸資産に関して、実地たな卸を行わず帳簿たな卸により算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これに伴い、過年度において臨時的に発生した際に特別損失として計上いたしました「たな卸資産除却損」については売上原価に含めて計上しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,552	6,729
売掛金	1,767	2,314
有価証券	3,999	3,997
製品	621	154
その他	231	233
流動資産合計	12,171	13,429
固定資産		
有形固定資産	218	226
無形固定資産	203	137
投資その他の資産	210	257
固定資産合計	632	620
資産合計	12,804	14,049
負債の部		
流動負債		
買掛金	738	916
未払法人税等	725	1,709
その他	260	653
流動負債合計	1,724	3,279
負債合計	1,724	3,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	9,789	8,920
自己株式	△588	△67
株主資本合計	11,081	10,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	36
評価・換算差額等合計	△0	36
純資産合計	11,080	10,770
負債純資産合計	12,804	14,049

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	11,595
売上原価	4,870
売上総利益	6,724
販売費及び一般管理費	1,763
営業利益	4,961
営業外収益	
受取利息	24
受取配当金	2
雑収入	2
営業外収益合計	29
営業外費用	
株式交付費	0
自己株式取得手数料	1
為替差損	0
固定資産除却損	0
営業外費用合計	2
経常利益	4,988
税引前四半期純利益	4,988
法人税等	1,943
四半期純利益	3,044

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	4,988
減価償却費	125
長期前払費用償却額	9
受取利息及び受取配当金	△26
売上債権の増減額(△は増加)	547
たな卸資産の増減額(△は増加)	△464
その他の流動資産の増減額(△は増加)	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△178
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△298
未払消費税等の増減額(△は減少)	△88
その他	△1
小計	4,612
利息及び配当金の受取額	26
法人税等の支払額	△2,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△75
無形固定資産の取得による支出	△118
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の処分による収入	24
自己株式の取得による支出	△586
配当金の支払額	△2,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,689
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,174
現金及び現金同等物の期首残高	10,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,551

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	8,374
II 売上原価	3,296
売上総利益	5,077
III 販売費及び一般管理費	1,365
営業利益	3,712
IV 営業外収益	26
V 営業外費用	2
経常利益	3,735
VI 特別損失	0
税引前四半期純利益	3,735
税金費用	1,456
四半期純利益	2,278

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	3,735
減価償却費	93
長期前払費用償却額	13
受取利息及び受取配当金	△6
売上債権の増減額(増加:△)	△752
たな卸資産の増減額(増加:△)	△276
その他流動資産の増減額(増加:△)	△3
仕入債務の増減額(減少:△)	576
その他流動負債の増減額(減少:△)	60
未払消費税等の増減額(減少:△)	26
その他	△16
小計	3,450
利息及び配当金の受取額	23
法人税等の支払額	△1,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,912
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△88
無形固定資産の取得による支出	△53
その他	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の処分による収入	20
自己株式の取得による支出	△662
配当金の支払額	△1,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,766
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	△3
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	8,040
<b>VI 現金及び現金同等物の第3四半期末残高</b>	8,036

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

製品区分	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
特定用途向LSI (ASSP) (百万円)	12,656
顧客専用LSI (ASIC) (百万円)	—
合計 (百万円)	12,656

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. ASSPとは、Application Specific Standard Productの略。特定の応用機器、使用目的のために設計、製造されるLSIで、複数の顧客に対して販売を行うものをいいます。また、ASICとは、Application Specific Integrated Circuitの略で、特定顧客の特定の応用機器、使用目的のために設計、製造されるLSIで、開発を依頼された特定の顧客に対してのみ販売を行うものをいいます。

(2) 受注実績

当第3四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

製品区分	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
	受注高	受注残高
特定用途向LSI (ASSP) (百万円)	13,136	5,161
顧客専用LSI (ASIC) (百万円)	5	5
合計 (百万円)	13,141	5,166

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

製品区分	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
特定用途向LSI (ASSP) (百万円)	11,595
顧客専用LSI (ASIC) (百万円)	—
合計 (百万円)	11,595

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 当第3四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)
緑屋電気株式会社	10,520	90.7

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 7. 最近における四半期毎の業績の推移

平成21年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 20年4月～20年6月	第2四半期 20年7月～20年9月	第3四半期 20年10月～20年12月	第4四半期 21年1月～21年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	3,307	4,191	4,096	—
売上総利益	1,915	2,434	2,374	—
営業利益	1,424	1,729	1,807	—
経常利益	1,432	1,739	1,816	—
税引前四半期純利益	1,432	1,739	1,816	—
四半期純利益	878	1,059	1,106	—
1株当たり四半期純利益	7,001円71銭	8,439円81銭	8,829円96銭	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	12,161	13,951	12,804	—
純資産	10,446	11,517	11,080	—
1株当たり純資産	83,245円67銭	91,634円04銭	89,304円18銭	—

平成20年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 19年4月～19年6月	第2四半期 19年7月～19年9月	第3四半期 19年10月～19年12月	第4四半期 20年1月～20年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	2,706	2,177	3,490	5,420
売上総利益	1,723	1,365	1,988	3,141
営業利益	1,310	923	1,477	2,257
経常利益	1,319	929	1,486	2,262
税引前四半期純利益	1,319	929	1,486	2,261
四半期純利益	803	559	915	1,350
1株当たり四半期純利益	6,394円63銭	4,483円64銭	7,337円25銭	10,775円23銭
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	9,899	10,372	11,156	14,049
純資産	8,580	9,107	9,405	10,770
1株当たり純資産	68,805円21銭	72,968円22銭	75,301円68銭	85,819円65銭